

9

変化とチャンス

2020.06.22

順調の時代

前



山火事

変化の時代

後

チャンス

キック

再生

ローマの変化

⑧ 17-18人の物語

2020.06.15
2020.05.23

1. 紀元前 167年

衰退しつつあった ギリシア から、一千人の人質 の
ローマに送られることになった。

彼らは、キルネで監禁されることになった。

それ以来、ローマ共和国内の町や村の有力者の家に
預けられた。

2. ホリキウスの「歴史」

BC 200 ~ BC 120

ホリキウスの友人、ローマに来た人質の一人

3. ホエニ戦争

ホエニ — ローマ人のルタゴ人を呼ぶ 称号

*1回 BC 264 ~ BC 241 シリアを主戦場
シリアはローマ属領となる

*2回 アルゴスを超えて ハンニバルの連勝 BC 218 ~ BC 201
アキウスが市街を陥没、アフリカのサニでスキピオが
ハンニバルを破る

才3回 (BC149~BC146)

ローヌ遠征軍がカルタゴを壊滅

4. カルタゴ

西地中海の強国

ホエニ — フェニキア人

5. ホリビウス

ホセ・ギリシアは、自滅しつつあり、

なぜローヌは、上昇しつつあるのか?

このわずか53年間で (才二次ホエニ戦争~才三次ホエニ

に、ローヌ人のホセ・ギリシア戦争と称する戦争)

何故、可能であったのか、

また、いかなる政体のもとで可能であったのかについて、

ホセ・ギリシア戦争も、いかにして

6. 紀元前8世紀 BC 753 4 ロムルスがローヌを建設

その当時のイタリアは、北はサルビア、南はギリシアと

二分されていた。ローヌは、この二大勢力の争いに

生かされたりもした。 ロムルス18才と3000人のラテン人

11. ギリシア、12-2の 多神教

エタマ、キリストの 一神教

12-2人にとっての 宗教は、指導原理ではなく、
支えにしかつかわれた。

宗教を信じることを人間性が変化するにつれてきた

12. 人間の行動原理の正しさを

(1) 宗教に由来する人

(2) 習慣に由来する人

(3) 法律に由来する人

(4) 道徳に由来する人

(5) 日本人は、

危機の時代

シム・ビジャース

2020.06.12

1. 新型コロナ → 世界経済の混乱

キツカケレオオホい 以前から見えていた混乱

2. インド、トルコ、インドネシアの苦境

3. 長年にわたって来日の経済的繁栄の終り

残るから繁栄には必ず終りがある

4. 2008年 中国の世界経済繁栄の維持

マネーの潤沢、充分な外資

→ しかし、今は借金だけ

5. 6/1/20 マインポレイズ、リハムを以て

1階は50%、2階は15% 更に悪い

確実に消費の減退

6. 「終りの始まり」の開始

中国では倒産が相次ぐ
インドでは債務不履行

7. 世界経済の行きがかりのサイン

トランプの米と欧州内の人の移動の制限

— 世界の勝取つてきたものの破壊

移動の減少: 直接会対、ゆるがなくなる



景気減速、経済破綻

8. 人生に最悪の予兆が来る

— 景気減速

9. リーマンショック後の12年以内(2008-2020)

株価が上がり続けた異常

— やがて下がるのは必然だ

10. 世界で負債が増え続けている

11. 債務超過の国々

レバノン、フランス、トルコ、南アフリカ

—— 最も悲観的なときから買い時で有り

最も楽観的なのときから売り時だ ----

30. インフロンは、1930年に

ニューヨーク証券取引所で

1株/100以下になった 104社の上場株を買
それを100株購入した。

そのうち、30社以上は破産し、

残りの70社の株価は大幅に上昇した

1942年に売却したといふ 莫大な利益が出た

31. 多くの成功した投資家は、

危機のときにチャンスを見つけている

ほかの人と同じことを考えず、自分から考えて

32. 世界的な経済危機が来ると、

一番大きな被害を蒙るのは ニュートン・グリスである

33. 11-マン後の大型模デモ

政府による金融機関救済の批判

高松晋への優遇措置の厳しい批判

— 190米のゴジス・アミー

1992年のゴッスス・アミー

34. 生活苦になった人々は怒りのはけ口を求め

危機が起きると、新聞の一面に

恐ろしいニュースが掲載され、

多くの場所に不幸な人々が出現する。

35. 山火事は、世界のために森を再生している

危機は山火事のようなもの、

古い木々を一掃し、新しい森を提供する

36. しかし日本は、1990年4月 バブルに際し

有能な人々にお金を与え、無能な人々にお金を

与え続けた。

7. 少いつつ力を加えられ小枝が

太くて太く折れやすくなった。

取り返しのつかなくなってきたから、多くの人から「しめどき」が来た。

8. 戦後長らく、日本では経済が規律正しく、

競争に勝つ、高品質の製品を作り続けてきた。

それ、日本の強さであった。

ところが、

9. バブル崩壊の 1990年代から。

日本は「金に乏しくなった人」になった。

10. 厚手の借金をかかると速く返すのは難しい。

日本はそういう状態になった。

11. 1955年以来、自民党の政治は、ムカヒ公共工事を

続け、財政赤字を膨らませた。

その悪しき伝統により、日本の状態を悪化させた。

現代会計入門

2020.06.22

1. 会計の終焉と

戦略的資源・归结報告書

アクションインテリボクは利用者のニーズに対応し

ていい (会計の再生 The End of Accounting)

2. 无形資産の台頭

専美から乖離した会計の現定

法外事象の拡大とその影射

ビジネスや産業の変化への対応

3. 会計の根本の无変化

ビジネスモデルの根底にある基礎的指標

基礎的指標の重視

4. SR & CR

- (1) 資源開発 (投資, 人材)
- (2) 戦略的資源 (ビジネスモデルを支えるもの)
- (3) 資源保持 (市場への対応)
- (4) 資源展開 (展開と結局)
- (5) 創造価値 (価値指標)

5. 事業構造改革を映し出す統合報告

財務レバレッジ

資本と負債の比率

$\frac{\text{負債}}{\text{資本}}$

総資本営業利率 $\times$ (総資本営業利率 - 利息率)

$\times$ 負債 + 自己資本

△、花子会計のインパクト

人材インサリタートの意味

— あなたは、英語カードを

“ ET ”

“ 国際会計 ”

より共通点は、グローバルコミュニケーションである

⑤ オフバランス 項目の オンバランス

⑥ 包括利益

⑦ ROE 自己資本利益率

税引後当期利益と 株主資本

10 不仕会計

(1) 2015年 東芝

2008~2014年度にわたる

利益前入る 1512億円 の利益の減少
年200億円。

① 工事進行基準

(工事進捗の減少見直し)

② 映像事業の会計処理

(当期に降りる見直し)

③ ノンエー事業の

(子会社への投入価格の増減と減価)

④ 半導体事業の在庫評価

(減価在庫の評価減の時期遅延)

11 M7-エーの増減

2012年度にわたる

30億円

増減 40億円にすぎ

2012年度にわたる



2012年度にわたる

12. 非財務情報

企業の社会的責任

排出量

資産除却率

環境社会問題

13. 統合報告書

PDW-レポート
CRS-レポート) 統合報告書

2004年 数社 → 2010年 450社

非財務情報

気候変動、~~環境~~水、暴風雨

14. 財務情報と経済的リンク

負債

事業の言語

影響の双方向性

会計は経済生活の情報を伝達する基盤となる

15. 言語の進化と会計

実世界の大部分は、人間集団の言語情報から、無意識に作られる

一歩進んで、会計は実世界の大部分の会計言語から

作られ、無意識に作られる

16. 会計とは

企業の経済事象を一定のルールに従って
数値に写しこむ整理作業である。

会計は、大量で複雑な事象を、極限まで抽象化して
要約する表現能力を持っている。

17. 受托責任会計 stewardship accounting

18. 会計観の変化

<u>1960年代前半</u>	<u>1970 (AICPA) ~ 2000年</u>
計算システム	情報システム
会計70%以上の強弱	利用者の意思決定への有用性
	経済的意図決定に役立つ情報提供
	会計はサービス活動である

19. 監査制度

1993、3期から英文の財務諸表に V字マークを付した 日本基準

2002、1 監査基準の新設

リニア化、内部統制の導入、IT化、透明性、追加情報の新設

20. 2005年の改訂

- ① 事業上のリスクを重視した (リスク・アロケーション) への導入
- ② 重要な業務表示・リスクの評価
- ③ 特別に損失を要するリスクへの対応
- ④ 従来の品質管理の基盤
- ⑤ 内部統制の評価

21. 4C-フレーム

① 情報の質	quality	Q
② 情報量	Coverage	C
③ 情報のタイミング	Timing	T
④ 情報開示の方法	Way	W

$$\text{4C-フレームの有用性} = Q \times C \times T \times W$$

22. 貸借対照表

IFRSとIF 財政報告基準

23. IFRS

- (1) 附属的創造的方法 (非活動) 資産CF 投資CF
- (2) 非活動的資産と負債の対等法 (財務活動) 財務CF

24 IFRSの訳書表

	財政状態計算書 B/S	包括利益計算書 P/L	C/F計算書
固定資産	固定資産の増減	固定資産の減価償却	固定CF
流動資産	流動資産の増減	流動資産の増減	流動CF
負債	負債の増減	負債の増減	負債CF
純資産	純資産の増減	純資産の増減	純資産CF
法人所得税	法人所得税の引当	法人所得税の引当	法人所得税
非継続事業	非継続事業の増減	非継続事業の増減	非継続事業
所有者持分	所有者持分の増減	所有者持分の増減	所有者持分

25. 車の台数

購入台数	使用者現台	使用者全部	中古車台数
200台	300台	150台	120台
	利用台数		

26. 連結会計

(1) 持株比率基準

(2) 支配力基準

① 過半数支配 (議決権)

② 40~50%

取引、肉連者、経営、役員調整)

③ 自連 + 自連同一内容の議決権行使 → 過半数

(3) 肉連会社

主要な影響を与える = 20%以上 子会社以外の会社

① 20%以上

② 15~20%未満

③ 20%以下

) 役員、専任の肉連

9 孫子の兵法 (守屋洋)

2020.06.15

戦争⑪ 動と静の組合せ 環境のオウの致
人 故に兵は、詐を以てつ立ち、利を以てて動き
分合を以てて変ずる者なり

兵は 環境に左右される。故にけられてたい

2. ながら臨機応変

何に対して ----- 致されては 環境に非いて
その疾きと風の如く、その徐かなきと木の如く、
侵略する如く、動かさずと山の如く、
知り難きと陰りごとく、動くとき雷霆の如く。

3. 迂直、計を先知する者は勝つ、これ軍法の法なり
孫子は故を 環境と変、ついる

兵 敵の志氣が 旺盛なれば、戦いを避す。

志氣が衰えれば、之を打つ

兵を掌握するとは、これを去る

5. 无邀正正之旗，勿击堂堂之陈。此论变者也。

6. 围师必阙，穷寇勿追。

围师必阙，穷寇勿追

7. 军争之难者，以迁为直，以患为利。

故迂其途，而诱之以利，

后人发，先人至，此知迁直之计者也。

8. 故军争为利，军争为危。

举军而争利则不及，委军而争利则车轴重捐。

是故卷甲而趋，日夜不处，倍道兼行，百里有争利，则擒三军将；劲者先，罢者后，其法十一而至。

五十里有争利，则蹶上军将，

其法半至。三十里有争利，则三分之二至。

是故军无辘重则亡，无粮食则亡，无委积则亡。

空城の計

兵力の集中と分散
一点集中

戦いの地、戦いの日を知る

勝利の条件は人にかつる

水は高いところを避けて、低いところに流れてゆく

戦争も、水と同じく敵を避けて相手の手筈をつく

迂直の計

急を以て回れ。

遠征軍のハンディ

孔明軍は奇謀をもつてても

結局、敵と戦う心は同じで、環境をどうの心は同じ

⑧ 九変

1. 圯地 行軍の困難なところ (軍を易にせしむ)
2. 懼地 諸口の勢力が環衛し合っているところ (外を全くとす)
3. 絶地 敵の奥深く (長く止まらぬ)
4. 困地 敵に包み込まれた土地 (脱出を図る)
なくばして
5. 死地 絶対絶命の危機 (死闘ありのみ)

6. 臨機止変の戦略 --- 九変の利

原則と応用の両面、

故に将、九変の利に悉くしむ、兵を用う能く知る、

将、九変の利に悉くしむ、

地形を知るといふとも、地の利を得ることを能くする、

兵を治め九変の解を知らざれば、互利を知るといふとも、

人の用を得ることを能くする、

7 トーリング

40年事は多方面からリアリズム-400必要、

特に 利益面

、 元金に反し、同時に起る損失

諸葛孔明は 老

問題を解決するには、一面的な態度で臨むことは
おこなない。

利益を得るときおこなう、提案のほうも計算に

入れているおこなうはいる。

成功を夢みながら、失敗はとまのことも考慮に入れた
おこなう必要がある。

従って、戦争においては、敵の素意を十分に

期待をかけるおこなうはよく、彼に素意を断念させる

おこなう おこなうを軽蔑とするおこなうがある。

—— 彼が攻めさるおこなうを怯むおこなうはよく、吾々の
攻めおこなうからさるおこなうを怯むおこなう

8. 必死は殺され、必生は辱められる

9. 将の道七 (11-22 武將を欠くこと)

(1) 必死は殺される

(2) 必生は辱められる

(3) 急遽に、侮れる

(4) 廉潔は辱められる

当然のこと強詞しつてはダメ

(5) 豪死は恥ぢられる

当然のこと強詞しつてはダメ

⑨ 行軍

1. 地形に依いて戦法

敵軍の合理的な考へ方

2. 渭水で戦い大敗

苻堅は後退し、晋の度阿を許した
前秦の

3. 楊ノ軍は高きを好み下を惡し、
陽を善し陰を惡し。

4. 近づくにはおろぬ地形 (谷を造りておろす)

(1) 絶河 絶壁のありて谷間

(2) 天井 深く霧をこみたる窪地

(3) 天牢 三方に險阻あり、脱出困難なり

(4) 天淵 草木の密なり、行軍困難なり

(5) 天陷 湿潤の低地、通行困難なり

(6) 天隙 山内部のくぼき所なり

5. 緻密な観察方法

⑩ 地形 将軍の役目、地形は状況、環境もある

1. 6種類の地形

- ① 通 四方に通じている地形
先に、南同様の高地に攻め、神谷峠を確保
- ② 挂 進行するの容易いから、撤退するのは困難、先手必勝
- ③ 尖 双方に攻め、進行するのは不利な地形
敵から材料が下りて来ない、敵の仕掛を待た
- ④ 隘 隘 入口の狭い土地、入口を固める
敵から先手を取っていき手を止まさない
- ⑤ 下険 険 隘の上地、南同様の高地に布陣
敵から攻められては相手が不利
- ⑥ 遠 本口から遠く離れた地へは慎重に

この6種をゆきまえて、対応するから 将の役目である

2. 軍の敗戦する場合 天の災いはいはねて、将の過ち 将に諸般の過失

- ① 走 一のかたきと戦う組員におつたとき
- ② 弛 兵は強いが、幹部が弱い場合
- ③ 陷 幹部は強いが、兵が弱い場合
- ④ 崩 上層部の折衝しか悪い場合
- ⑤ 乱 将か軍の統率を失っている場合
- ⑥ 北 将師の敵軍を把握できず行かしている場合

彼を知り己を知れば、勝、乃ち多かるべし。

天を知り地を知れば、勝、乃ち寡かるべし。

⑩ 九地

1. 戦術とある地域の性格と戦い

(1) 散地 自らの領内 (戦いを避ける)

(2) 輕地 他に輕く攻め入る (多量に兵を遣ふ)

(3) 爭地 争奪するに有利と知る地 (敵が先取すれば攻撃せらる)

(4) 交地 敵味方双方進攻可能な地域 (部隊間の連絡を密にす)

(5) 衢地 諸外れと隣接する地 (外交交渉を重視)

(6) 重地 敵の領内深い土地 (此地の調達をいかにする)

(7) 圯地 行軍の困難な地域 (速に通過する)

(8) 困地 撤退するに迂回を必要とする土地

(9) 死地 進めれば必死し退けば生存不能な地域

⑪ 火攻

1. 火攻め

(1) 人馬を焼く

(2) 軍糧を

(3) 輜重(輸送物等)を

(4) 倉庫を焼く

(5) 屯倉を

⑬ 用間

1. 敵の情を知るときは、不仁の至り

威嚇を出し惜しみ、敵情を知るときは
ことばハカけたことだ。

明君、賢將は、成功を収めるのは、相手に先んじて
敵情をさぐり出すからである。

2. 敵情をたぐり出すには、

(1) 神に祈るなり

(2) 経路に頼るなり

(3) 星を占う

わけあるなり

あきらめ人間を使ひてたぐり出すのである

孔明

3. 以て一日の勝を争う

4. 敵の標百金を盗みて敵の情をたぐり出すなり。

不仁の至りなり

(1) 郷内問 — 敵の領民を使ひて情報を集める

(2) 内問 — 敵の役人を買収して情報を集める

(3) 反問 — 敵の使者から得る

(4) 死問 — 死を覚悟して、敵内に侵入し
二つの情報を出す

(5) 生問 — 敵内から生還して情報を報告する

5. 始皇帝の問者たち

秦軍と問者の印を重視している。

I 始 計

事前の研鑽を怠らし

戦争に敗れを得ずするもの

1. 5つの基本問題の真の理解

道	上下を一定同時にすることの大小を分
天	時間的要素 / 天の時
地	地形の有利不利 / 地の利
将	将帥の器 / 組織のリーダ
法	組織

2. 7つの基本条件

- (1) 君主はどちらかの立派な政治を行っていかう
- (2) 天の時と地の利はどちらかの有利か
- (3) 将帥はどちらかの有能か
- (4) 法令はどちらかの徹底しているか
- (5) 軍隊はどちらかの精強か (6) 士卒はどちらかの公正

3. 兵は詭道なり 七言あり

故に能なるも、これに不能を示し

近くも、これに遠きを示し

利にして、これを害し

攻めし、これを取

治めし、これを避

ソの无端を攻め、その不意を生ず

II 作戰

1. 戦争には莫大の費用がかかる

2. 兵は機速を要す

3. 毛沢東の三大規律

① いっさいの行動は、指揮に従う

② 大衆のものは針一本とせよ

③ 人民の生活必需品は公平を要する

卡毛择东の8项注意

- ① ことば、つかい方、おどしめかに
- ② 走り書きは公正に
- ③ 借りたものは返す
- ④ こわしたものは弁償する
- ⑤ 人をのしとる
- ⑥ 役作物を盗むとる
- ⑦ 他人をからかうとる
- ⑧ 掃蕩をいふとる

5. 呉子の兵法

将は勇氣ではなぬ。それはごく一部である

- ① 理 (管理) 部下の統一
- ② 備 (準備)
- ③ 果 (決意)
- ④ 戒 (自戒)
- ⑤ 治 (治事化)

③ 謀攻

1. 攻め易しき所ヲ

攻め易しき所あり 自らを害せずして勝つ

2. 上兵は謀を恃つ

3. 城郭ト云々 兵を勝たず

4. 勝算ありければ勝つ

④ 軍形

1. 敵のくずれを待つ

2. 勝ち算なきに勝つ

⑤ 兵勢

2020.04.27
2020.02.29

明清现代

No. 9

2018.08.27
2018.10.29
2018.12.21

226

明清 (1) 1368-1912

朱元璋在元末农民起义中力挫群雄，推翻了元朝的腐败统治，
(1328-1398)

建立了明王朝。他在政治，军事上作了一番革故鼎新的变革。

朱元璋参加了红巾军，时年25岁。

2019.06.24

1976年4月、华とアフリカ開発事務所長、トーマス・イワハシの会談した。

この時の報告書は先見性に豊かだった。

「华は聡明で個性が強く、移行期の理想の人物なり。内外政策に劇的な
政策を打ち出している。」 「私は新左派、より右の立ち指導者の登壇を望むの心
が強いと思う。华は歴史的存在意義を果した後 お世に 押し出されて(中略)」

明朝建于1368年，至1644年灭亡，先后16个皇帝，共276年。

朱元璋，集军政大权于一身，在经济上采取了一系列恢复和
发展社会经济的措施，为明初的经济繁荣奠定了良好的基础。

明清(5) 1518-1912

No.

Date

1616年，努尔哈齐建立后金，定都赫图阿拉（今辽宁新宾县），
创建了统一的女真族奴隶国家。皇太极在位时期，后金完成从奴隶
制向封建制的转化，改国号为清。

努尔哈齐（1559-1626）是女真酋长猛哥舒麻儿的六世孙，
姓爱新觉罗，一度投到明朝了名将李成梁帐下，喜读
(全)(续)
<三国演义>和<水浒>，接受过汉文化的熏陶。回建州后，
被封为建州左卫都督，并加封龙虎将军。

努尔哈齐在统一女真各部的过程中，建立了八旗制度，平时耕猎，
战时出征。

外債についても、年金を供つて、これから米口債を買い入れている。
米中関係が悪化して、中口から米口債を売り出す事態となれば、
米口債は暴落して、日本年金は減る。

日本が何の事態で世界の信託を失って、口債や株の暴落が
相場も年金は大きく目減りする。

明清(9) 1368-1912

在清前期对外贸易、中国长期保持出超

英国为了改变贸易中入超的不利地位，决定把鸦片作为对中国贸易的

主要商品。乾隆年间，英^东印度公司占领了鸦片产地孟加拉，1773年

开始对中国经营鸦片贸易。

军队战斗力削弱，白银外流，百姓负担加重。鸦片输入成了当时严峻

的社会问题。1839年3月，林则徐以钦差大臣身份来到广东禁烟。

ある。長い国境を接するロシアである。

ロシア政府は決して、表立っては中国の悪口を言おうとしない。複数の日本政府当局者によると、さまざまな対話でどんなに中国問題に水を向けても、ロシア当局者からは「中国との関係はうまくいっている」といった建前しか返ってこないという。

なぜなら、いたずらに中国を挑発したら、とても面倒なことになると分かっているからだ。それほどロシアは強大になる中国を警戒し、脅威に感じているということだろう。

だが、非公式のやり取りでは、まれにロシアの本音が出ることもある。いまでも忘れられないのが、プーチン大統領の最側近が日本にひそかに伝えた忠告だ。

12年10月。尖閣諸島を日本が国有化し、北京で空前の反日デモが吹き荒れた直後に、日本にやってきたパトルシェフ安全保障会議書記である。かつてスパイ機関のトップに君臨し、いまはプーチン大統領の対外戦略を切り盛りする最側近だ。

「いまの中国は、共産党が支配していたソ連時代のロシアと同じだ。いったん（対日強硬の）方針が決まると、そのとおりにほとんどんやってくる。だが、共産党体制下では方針が、がらりと変わるときがある。それがいつなのか、日本は注意してみておくといい」⁴

また、経済政策にかかわる別のロシア高官からは、こんな警戒感が伝わってくる。⁵

「経済上、中国への依存度がさらに高まれば、安全保障が危うくなる。だから、日本からの投資をもっと呼び込みたいのだ」

「ソ連は末期に法の統制が効かなくなり、崩壊した。中国もすでにそんな状態にあるのに、共産党体制が倒れず、続いている。だから、よけいに危ないんだ」

⑨ 法华经

2019.08.24
2020.09.27

仏教について

1. 概 論

東洋的な思想 — 仏教

西洋的な合理主義に対して、

(地球の破壊、人間の劣化と称して)

仏教の世界観は、人間も含めあらゆる生物、無生物の存在(西)を平等とし、共生共存の中で人間の幸せを追求する。

釈迦牟尼の教えは、八万四千の法門といわれている

それを諸君の法華経は、諸教の教えの精髄となっている。

无量义经

法华经

仏教の教え

仏教の根本的な思想
一切の平等、実相

釈尊や諸仏の

寿命、永遠性

修業、偉大さ

例え話、比喻 bǐ yǔ

心から、偉大の結果

生物、無生物の
存在(西)を
平等とする

説法品第二

法華經の新しい解釈 (p.1628
p.2254)
現代人の法華經 p.823

4

(1) 最高無上の悟りに達する教え

— 无量の教え —

① この世のすべてのものの存在を正しく見極める

② ^{そこが}何を生んでいるのか (生)

その中身の状態を導くのか (住)

異なったものに变化するのか (異)

あるいは消滅するのか (滅)

全住異滅を見極める

③ 世の中のすべてのことから、一刻も不変でいることはなく、
常に生じ、かつ滅していることの認識

④ それから、一瞬、一瞬に行われている

⑤ 多くの人々の機根、性格、欲望を見極める

千差万別の

(無量の存在と无量の教え)

⑥ 无量の教えは、それぞれ一つの真理、元相から生ずる

⑦ (元相)とは、差別をつくらぬ、一切平等である (実相)である。

⑧ この世のすべてのものは、本来 空であり、寂であり、刻一刻、

生じ、かつ 滅するものである

无量义 (説法品 才二)

一切のものは、此世として同じものばかり。

刻々と移り変わっていく所に思えてくる。――

実は、その本来の性質や すがた(相)は、変化することはない。

―― のより、一切のものが、本来、差別を超越した 空。

永遠に変わることはない 大調和 (寂) というのが 真実であることを
見極めなければならぬ

生と滅

―― 世の中の変化や 混乱を見て。

一切の事物(法)を深く理解した上で。

(1) このようにこの世のまじり (生)

(2) それからしげうきは さま (住)

(3) あるいは変化して行くさま (異)

(4) そしておしまいのとき (滅)

を理解し、一切の諸法(ものこと)を、

移り変わるものと、見極めを付ける。

―― 平等

世の中は完全に 平等 一直線に進行し続けている

その中の変化 (生、住、異、滅) している

これを 修行、参照根本とする。

小説 人間革命(下) 戸田城聖 85

(獄室の生活)

昭和19年1月

誤記

拘置所の独房に収容されたのは、要するに小説ではなくて、

日蓮宗の聖典であった

(監獄で『^出巖心工夫 ... 8冊の本を16冊+2、石版で写、
やり直し布をほつて糸で綴る。拙考で移転 ...)

无量義徳行品より

「... 其の身は有に非ず 亦无に非ず、方に非ず 象に非ず、

自他に非ず、生に非ず 死に非ず、生滅に非ず、

坐に非ず 臥に非ず、行住に非ず、動に非ず 転に非ず、

閑静に非ず、進に非ず 退に非ず、安に非ず、

是に非ず 非に非ず 得失に非ず、微に非ず 止に非ず、

去来に非ず、青に非ず 黄に非ず、赤白に非ず、

戒定慧解知見より生じ、三昧六通道品より発し、

茲悲十力無畏の起り、衆生善業の因果の成り ...」

「仏とは生命なるなり」

巖心は机の前で叫んだ。

人由革命 第4巻

(生命の庭) p.62, 87

--- に非ずといふ否定から非もある ---

仏の讃嘆 ----



---- 仏の讃嘆

それ、仏の具体的な姿 「応身」へと移っていく...

三身

法身、報身、応身

仏の身を三つの観点から見たもの
 衆を教化するために、仏が衆生に応じて
 変化し、現れた姿

明清 (10) 1368-1912

No. _____

Date . . .

太平天国农民革命的领导人是广东人洪秀全 (1814-1864)。

1851年1月11日洪秀全、正式宣布起义、建立太平天国。



一帯一路と中国の皇帝 (中国の統治の歴史)

(1月のごあいさつ)
平成30年1月1日(月)

陳舜臣先生の中国の歴史を読み終えた。史記や三国志や十八史略も併読しながら、最後は習近平の全地球的経済発展戦略(一帯一路)にも目を通した。

中国の歴史を見て、**皇帝(強力な指導者)**には二つのスタイルがあるように思う。それは、中国という大国を統治することに主眼を置いた皇帝と国際的な視野で中国を拡大した皇帝である。

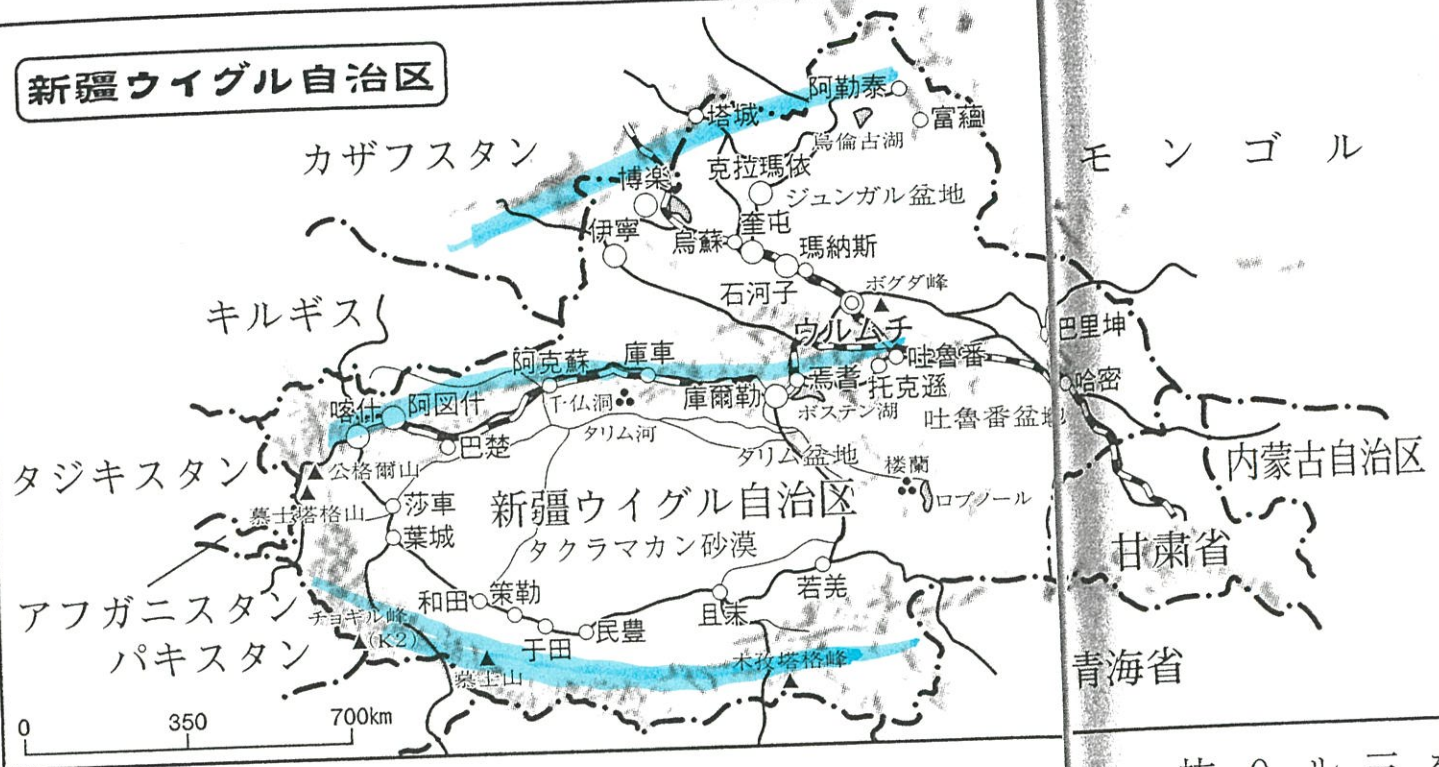
中国を統治した皇帝の第一は、言うまでもなく、**秦の始皇帝**である。春秋・戦国の諸侯や英雄が並立する時代を、歴史上初めて一つの中国にまとめた英雄は始皇帝である。次に秦の短い統治を反省し、四百年間の漢の時代を開いたのは、楚の項羽を下し漢を建国した**高祖劉邦**であった。その後再び分裂した中国を統一したのは隋であり、隋を継いだ**唐**である。蒙古による異民族支配に取ってかわり、漢人の政権を打ちたてたのは、**明の洪武帝朱元璋**であった。時を経て現在の中国を統一した指導者は**毛沢東**である。これらの強力な皇帝は中国という大国を一つにまとめた。

これらの皇帝に対し、中国の外に目を向け、**国際性を目指した皇帝**がある。その第一は**漢の武帝**である。高祖、文帝の国内の蓄積を活用し、匈奴を撲滅するという戦略の下に、遠くローマまでのシルクロードを開いた武帝は、中国を一気に**世界帝国へと飛翔**させた。武帝の後も**唐の都長安は玄宗の盛唐時代**を中心に国際的都市であった。その後、帝国の版図拡大に努めた皇帝は**元の成祖フビライ**であり、シルクロードを経由した東西の往来は軌道に乗り、国都大都(北京)には東方見聞録を著わしたマルコポーロも訪れている。**明の永楽帝**は韃靼を討ち、鄭和を南海、遠くアフリカまで派遣して諸国を従わせた。

2014年11月、中国で開催されたアジア太平洋経済協力首脳会議で、**習近平総書記**は、中国西部から中央アジアを経由してヨーロッパへつながる「**シルクロード経済ベルト**」(一帯)と中国沿岸部から東南アジア、アラビア半島、アフリカ東岸を結ぶ「**21世紀海上シルクロード**」(一路)の二つの地域を中心に世界経済圏構想を提唱した。そして、その実現へ向けた**アジアインフラ投資銀行(AIIB)**やシルクロード基金の創設などの諸政策は顕在化しつつある。

他国の内政に干渉せず、体制モデルを押し付けないこの戦略は、従来のアメリカによる**軍事的リーダーシップ**とは一味違う、世界の経済的繁栄を主眼とした考え方であり一目に価する。

新疆ウイグル自治区



ことをいう。天山山脈と崑崙山脈のあいだに東西の長さ1100キロ、南北の幅500キロ、総面積約53万平方キロもあるタリム盆地が広がる。天山山脈とアルタイ山脈に囲まれているのは、総面積三十数万平方キロのジュンガル盆地である。雪をいただく山々と氷河は500以上の川の源となり、無数のオアシスをつくりだす。ただし、川のほとんどは海に流れ込まない内流川である。全長2179キロあるタリム河は新疆最長の川というだけでなく、中国一長い内流川でもある。カザフスタン領内のバルハシ湖に注ぎ込むイリ河は全長1500キロ、27の支流をかかえ、新疆で水量がもつとも多い川である。アルタイ山脈を源にするエルテ

を囲んでいるという表現で説明できる。三つの山脈とは平均海拔3000メートルの北部のアルタイ山脈、平均海拔4000メートルの中部の天山山脈、平均海拔5000メートルの南部の崑崙山脈の

中国の現状からわかる本 天児慧著 2010.4 PHP研究所刊

人口 2,131万人

面積 165万km²

略称 新

区都 ウルムチ市

GDP 4,200 億元 (G2619)

2. 无量义经

(1) 德行品 才一

- ① 仏様の完全圓滿な徳と衆生程度の行の讃歎
- ② 仏様の美しさ、人間に生ずるもの

(2) 諸法品 才二

- ① 実相 この世のすべてのものに与りたる、相
- ② 根本 仏法の根本にあらざる

(3) 十功徳品 才三

- ① 実践上の 精神的功徳

3. 妙法蓮華經 (法華經)

(1) 序品より 仏教は生老病死の四苦の真理である

(2) 方便品より 全ての存在と現象は 様々な原因(因)と
条件(縁)から成り立つ

人間の本性は固定したものでなく、善い方へも
変えることができる。

(3) 譬喻品より

十功徳品 才三

△

1. 人をしあわせにしようという気持ち、慈心を起こさせる
2. 一を理解し、無数の法がわかってくる
3. 心の煩悩に迷わされず、周囲の変化にひたひたしない

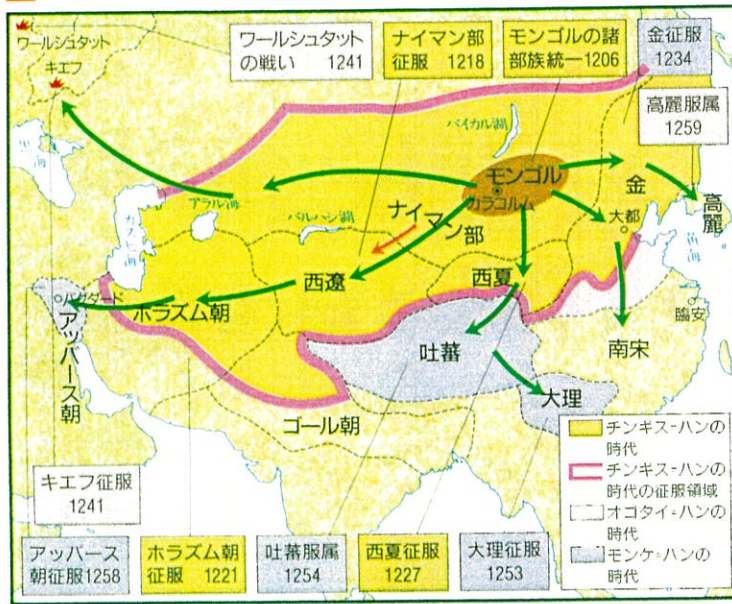
△

6 モンゴル帝国と元

①ユーラシアに空前の大帝国出現
②東西交流活発、ヨーロッパ人中国へ

(参照)
P.80 イスラム世界の分裂と
P.100 東ヨーロッパ世界の成立

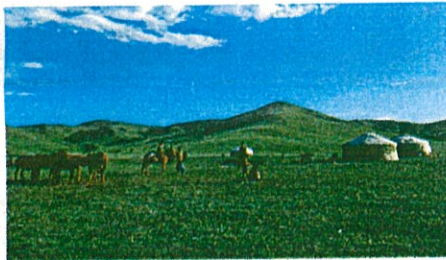
1 モンゴル帝国の征服



モンゴル高原には多くの部族が乱立し、互いに抗争を繰り返していた。モンゴル部族の首長テムジン(チンギス・ハン)は、タタール・メルキト・ケレイト・オングート・オイラートなどの諸部族を統一し、クリルタイ(重要事項を決定する集会)でチンギス・ハンの称号を受けた。その後、モンゴルは東アジアをはじめ、西方の強国ホラズムや広大なロシアを征服し、東ヨーロッパまで侵襲した。また、イスラム教の教祖国アッバース朝も滅ぼし、その勢いは全世界を震撼させた。

→モンゴル高原とゲル

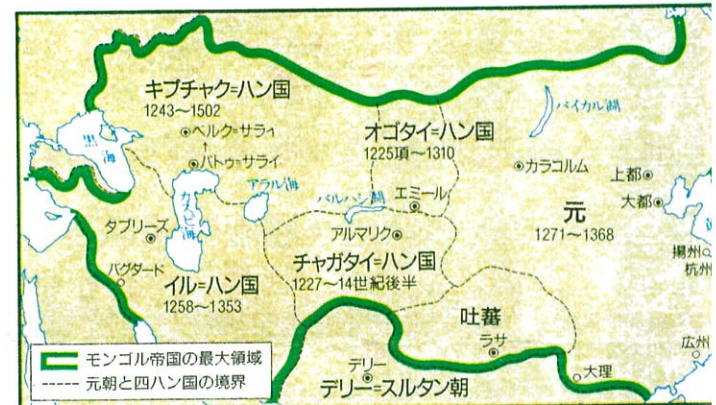
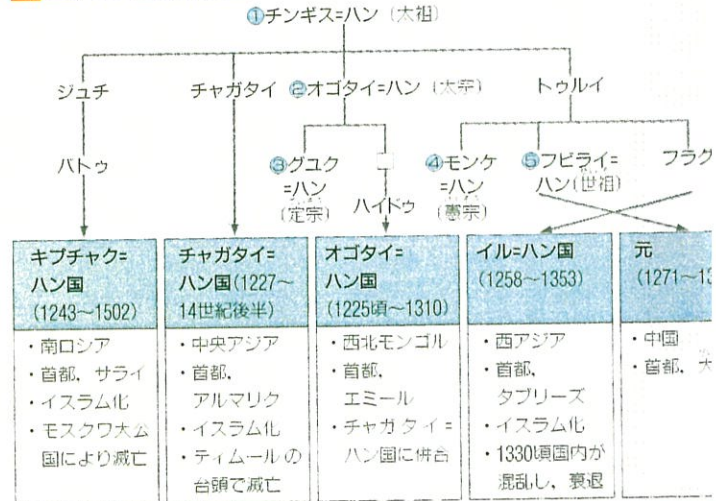
モンゴル高原は北海道と同じくらいの緯度であるが、標高は平均1500mもあり、1月の平均気温が氷点下26℃になる。モンゴル人は長く厳しい冬をゲルの中で過ごした。ゲルは組み立てが容易であり、しかも軽量で、移動に便利のため、遊牧生活には最適であった。



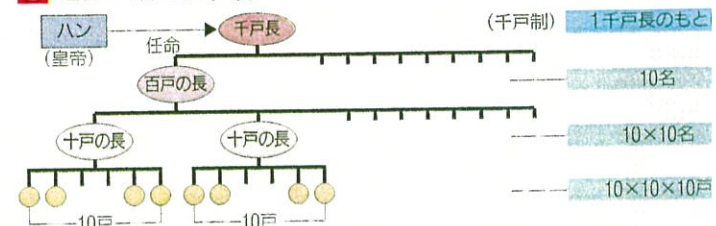
←ワールシュタットの戦い

バトゥの率いるモンゴル軍は、ロシアを占領した後、東ヨーロッパでシレジア公ハインリヒの率いるドイツ・ポーランド連合軍を撃破したが、オゴタイ=ハンの死によって連征は中止された。その後まもなく、バトゥはロシアにキプチャク=ハン国を開いた。

2 四ハン国の成立



3 モンゴルの軍制



チンギス=ハンは、全モンゴルを95の千戸に分け、勲功のあった将軍をそれぞれの長にした。千戸長は、百戸の長・十戸の長を自由に任命して支配した。各長は、それぞれ一定の兵を率いて従軍することが義務づけられた。千戸制は行政組織も兼ね、集権化に多大な役を果たした。

4 モンゴル帝国・元の変遷

モンゴル帝国 (首都、カラコルム)

- 1206 テムジン、モンゴルを統一し、クリルタイでハン位に就き、チンギス=ハンとなる
- ①太祖(チンギス=ハン) (位 1206~1227)
- ・千戸制(新しい軍事・行政機構)
 - ・占領地にダルガチ(軍司令官)を配置
 - ・ヤサ(ジャサ、法令)の制定
 - ・駅伝制(站赤)の整備、内陸部の東西交通が盛んとなる
 - ・金への侵入開始(1211~)
 - ・ナイマン部(旧西遼を支配)を滅ぼす(1218)
 - ・ホラズム(1221)・西夏(1227)を滅ぼす



↑チンギス=ハン(太祖)

- 1225頃 オゴタイ=ハン国成立
- 1227 チャガタイ=ハン国成立
- ②太宗(オゴタイ=ハン) (位 1229~1241)
- ・金を滅ぼす(1234)
 - ・首都カラコルムを建設(1235)
 - ・バトゥのヨーロッパ遠征(1236~1242)
 - ・キエフ公国を占領(1240)
 - ・ワールシュタット(リーグニッツ)の戦い(1241)でドイツ・ポーランド連合軍を破る
- 1243 キプチャク=ハン国成立
- ③定宗(グユク=ハン) (位 1246~1248)
- 1246 伊の修道士カルピニ、カラコルムに到着

- ④憲宗(モンケ=ハン) (位 1251~1259)
- ・フビライ、大理(1253)を滅ぼし、吐蕃(1254)を服属させる
 - ・フラグ、バグダートを占領、アッバース朝を滅ぼし、イル=ハン国が成立(1258)
- 1254 仏王の使者ルブルック、カラコルムに到着
- ⑤世祖(フビライ=ハン) (位 1260~1294)
- ・大都(現在の北京)に遷都(1264)
 - ・パスバ文字の完成(1269)
- 1266 ハイドウの乱(~1301)
- フビライのハン位継承に反対して、オゴタイ=ハン国のハイドウがチャガタイ・キプチャク=ハン国の2国を誘って反乱